民報あばしり
NO.1328
合併号
発行所
日本共産党網走市委員会
網走市北八西三
TEL四三－四四五八
F四三－四四五七

水谷市長がコロナ濃厚接触者「まち懇」参加者に無料で抗原検査実施

市長が26日、札幌に公務で出張した際に、飛行機内に新型コロナの陽性者がいたことが分かり、市長と建設港湾部管理職が濃厚接触者となりました。ところが、市長と市幹部職員は、この間「まちづくりふれあい懇談会」があり、3会場で市民と1時間半にわたり懇談していました。

市長と管理職員もPCR検査の結果、陰性だったことから、市は当初、「まちづくりふれあい懇談会（まち懇）」の参加者には、お知らせすることはしないという考えを示していました。

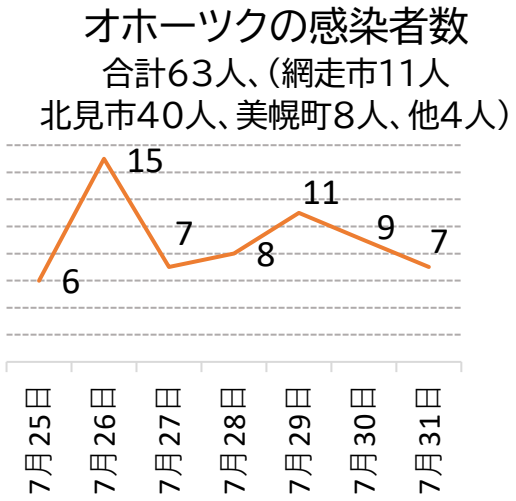
日本共産党議員団は、市の対応は参加者に不安を与えるとの考えから2日、桶屋健康福祉部長に対し「まち懇の参加者の中には不安に感じている方がいる。参加者名簿があるのだから、すぐに全員に無料で検査できることを知らせるべきだ」と申し入れました。その結果、全員にお知らせすることになりました。

日本共産党市議団は、「検査することで不安を少なくできる。市の判断は適切であり、今後とも努力をしてほしい」と述べています。

コロナ感染情報

市内では、飲食店のクラスターに続き、飲食を伴うセミナーでクラスターが発生（8月2日現在10名）しています。　2日の北海道のホームページによると、網走市の感染者は11人となっています。

市は、不安のある市民に対して、無料で抗原検査を行っています。心配な方は保健センター（43-8450）へ連絡してください。



松浦さとし　奮戦メモ！

8月になりましたが、私にとって8月は特別の月だと考えています。原子爆弾が6日広島に、9日長崎に投下され一瞬にして尊い命が奪われ、76年経った今も放射能による原爆症で苦しんでいる方や亡くなる方がたくさんいます。アメリカは「日本が起こした侵略戦争を終わらせるために使ったものだ」と、原子爆弾の使用を正当化しています。しかし、その後の米軍が行った記録フィルムを見れば、明らかに人体実験であったことが分かります。あまりにも残虐で究極の無差別殺人であり、生き残った人たちの死ぬほど苦しい原爆症との闘いには言葉がありません。

8月15日の敗戦記念日（終戦記念日）には、毎年に街頭から「戦争反対、平和を守りましょう」と訴えていますが、毎年、二度と戦争はしない、平和を守る決意をしています。

村ちゃんが駆ける

30日、議会の会派代表者会議があり、水谷市長から、クラスター発生で大打撃を受けている飲食店への支援を早急に行いたいと説明がありました。

上の記事のとおり、市長が濃厚接触者となったことから、希望する議員は抗原定性検査をできることになりました。鼻に綿棒を入れるもので、10分程度で結果は判り、陰性でした。全国でコロナ感染は拡大しており、市の検査事業は感染拡大を防ぐために有効な政策です。引き続き取組むよう求めます。

話は変わりますが、鹿は肉だけではなく、皮も使えます。毛皮は以前から興味があり、挑戦してみました。時間はかかりますが、ミョウバンをすり込み、乾かすとできることが判りました。

流氷

オニグルミの続編です。今時分、木の上で果皮を被った長さ2．5～3．5㎝の緑色の実を房状に着けております。9月から10月にかけて成熟します。この実は、栄養価が高く、食べ残されたものは地中30㎝ほどに埋まっていても発芽する力を持っています。しかし、食用にするには殻が硬く実が小さいので食用には向きません。一般には外来種であるシナノグルミ、ペルシャグルミ、テウチグルミなどが栽培され利用されています。おもな産地は長野県です。▼網走市でもテウチグルミが栽培されていました。今は切り倒され、ありません。総合体育館の裏手に今もナシを栽培している「中元浩巳」さんの果樹園です。材質は柔らかく丈夫で硬くて変形しないことからどこの国でも昔は銃床（発射時の反動を和らげるために肩に当てる部品）に用いられました。種子が薬用にされ生薬名を胡桃仁（ことうじん）と言い、喘息・便秘、インポテンツ、腎結石に効用ありです。

博物館友の会会員　小　森

「国会かけある記」　２０２１年８月２日

＃今からでも五輪中止の決断を コロナ対策に全力を

参議院議員　岩渕　友

北海道へ　伊藤りち子さんと訴えました。

総選挙勝利にむけて、紙智子参院議員と北海道入り。畠山和也前衆院議員を先頭に、それぞれ地域のみなさんと活動しました。私は、札幌市東区、小選挙区３区で伊藤りち子（比例重複）予定候補、９区で松橋ちはる予定候補と活動しました。新型コロナウイルスの新規感染者が東京で４０００人、全国でも１万人を超え、北海道にもまん防が適用されることになりました。さらに道内で記録的な暑さが続くなか、「こんな暑いのに本当にマラソンや競歩をやるの？しかも、感染が広がるのではないか心配」という訴えや、ワクチンのこと、くらしの問題などが怒りとともに寄せられました。

札幌市白石区では伊藤りち子さんと、新しくできた「居酒屋の灯を消すな」というポスターを持って居酒屋を訪問。消費税増税などで大変だったところに、長引くコロナ禍で、閉店している店もあります。苦境のなかで事業を続けてきたお店も、「１日３人くらいしかお客さんが来ない」「カラオケ好きのお客さんも来なくなった」「売上が落ちた」など切実な実態が寄せられました。今からでもオリンピックは中止して、コロナ対策に全力を尽くすことは待ったなしです。

室蘭での若者とのつどいで、どんな社会にしたいか、みんなで画用紙に書いて発表しました。一人ひとりの命が大切にされる社会にしたい。命を大切にできない菅自公政権を終わらせて政権交代を実現する総選挙に。日本共産党を大きくするときだと改めて決意しています。

８月９日の　原水爆禁止世界大会（オンライン）ご一緒に参加を

８月２日から、「被爆者とともに、核兵器のない平和で公正な世界を一　人類と地球の未来のために」をテーマに、原水爆禁止2021年世界大会が開催されています。

今まで参加が難しかったゲストからの貴重なスピーチや核兵器廃絶の流れをリードする市民社会の運動と国際政治をリードする国連や加盟各国のリーダーも招いて、核兵器のない世界を実現する知恵と経験の豊かな交流はオンラインならではの魅力です。

皆さんの参加をお待ちしています。

場　所　エコーセンター３階　視聴覚室
日　時　８月９日　10：00～12：30
参加料　無　料
主　催　原水爆禁止網走協議会

「ナガサキデー集会」の紹介

サイエド・ハスリン・アイディドさん

田上富久長崎市長

田中安次郎さん

イ・ギュヨルさん

フィリップ・ジェニングズさん

ラルフ・ハチソンさん

ロラン・ニベさん

第10回NPT再検討会議で核軍縮を扱う主要委員会１の議長を務めるサイエド・ハスリン・アイディドさん（国連マレーシア政府代表部常駐代表／国連大使）がゲストスピーカーとして登場。

田上富久長崎市長が来賓あいさつ、長崎被爆者の田中安次郎さん（長崎原爆被災者協議会評議員）とイ・ギュヨルさん（韓国原爆被害者協会会長）が訴えます。

「**核兵器のない世界への共同**」がテーマのセッション１では、フィリップ・ジェニングズさん（国際平和ビューロー　=IPB共同会長）、篠原祥哲さん（世界宗教者平和会議日本委員会事務局長）の参加が決定しています。

「**日本と世界、草の根の運動の交流**」がテーマのセッション２では、ラルフ・ハチソンさん（アメリカ・オークリッジ環境平和連合核説明責任追及連合理事）、ロラン・ニベさん（フランス平和運動全国書記）が発言。日本各地から**女性、青年労働者、高校生**が発言します。